

No. 200

昭和57年12月号



No. 1

昭和27年5月5日

「広報かなぎ」400号達成



No. 300

平成3年4月号



No. 100

昭和43年12月31日

昭和二十七年五月五日に「金木だより」第一号が創刊されてから四十七年余り。創刊号では、当時の町長、花田一氏が「本紙は皆さんに町政の内容をお知らせし、皆さんのご意見と世論を戴き挙町一致で進んで参りたいと思ひましてはじめてのものであり」と創刊にあたってのあいさつを残しています。

平成四年四月号の三百二十号より、「金木だより」から「広報かなぎ」に名称変更。

町民の皆さんと町をつなぐパイプ役「広報かなぎ」をこれからもよろしくお願ひします。



# 金木町観光物産館「マディニー」

# MADE



津軽半島観光  
PRコーナー



津軽半島物産  
展示コーナー



▲「ア〜ン」うめソフトクリームは  
超おいしい!!



▲斜陽館をバックに立つ。  
まるでタイムスリップしたよう

## 物産館前に

## まあるいポスト

物産館前に昔懐かしい丸形ポストが立っているのを知っていますか？

物産館オープンに当たり、斜陽館や物産館など周囲のイメージにあう丸形ポストを設置したいとの町側の要望で、金木郵便局が七月十五日に設置したものです。

この丸形ポストは、昭和二十八年に製造されたものです。が、郵便物の増加による大型ポストへの変化などで昭和四十五年に製造中止となったため、今では県内でも数が少な

くとても珍しくなりました。

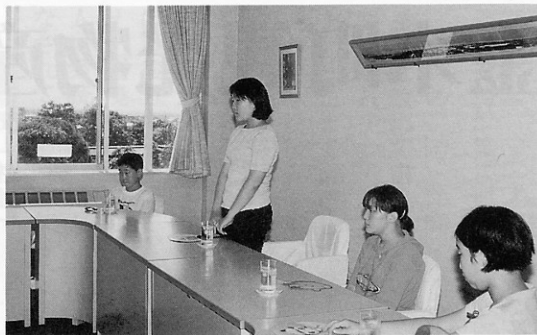
設置後、郵便局の方にうかがったところ「設置し始めのころは、見慣れないポストのため以前より郵便物が減少したので心配しましたが徐々に増えてきました。町民の皆さんにもっと親しんでもらい、たくさん利用してほしい」と話していました。

きれいな朱色に塗り直されて、現役復活した丸形ポストを一度利用してみたいかがですか。いつもと違うノスタルジアな気分になれるかも…

# 河口湖町より

## 使節団来町

▲まずは、自己紹介。  
少し緊張ぎみ



▲賽の河原を見学  
「ちよつとコワイ……」



▲思い出広場  
「カチカチ山」見つけた!



昨年に引き続き、「太宰のふるさと友好都市」山梨県河口湖町から山本和朝河口湖町収入役を団長とする文化使節団が、八月二日から四日までの三日間青森県を訪れました。この企画は、五月に河口湖町が町内から太宰作品をもとにした感想文・イメージ画を募集し、入賞者を「河口湖町文化使節団」として金木町に派遣するもので、文化交流事業の一環として行っているのです。

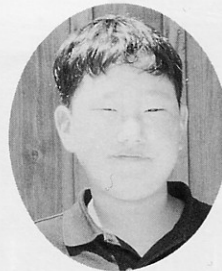
第二回目となる今回の使節団は、山本収入役、小学生五名、中学生二名、塚田兼二ス  
テラシアター館長、教育委員会中村拓郎係長の十名。金木町に着いたのは、日程の二日目。弘前市より五能線津軽鉄道「走れメロス号」と列車を乗り継ぎ金木駅に到着しました。役場を表敬訪問し、角田助役、成田教育長から歓迎のあいさつを受けた一行は、まず、小泊村の小説「津軽」の像記念館を見学しました。川倉賽の河原地蔵尊大祭では、ずらりと並ぶ各村地蔵や人形に驚いていました。

最終日は、この夏一番とも言える暑さとなり、うちわ片手に汗をふきながらの「太宰



河口小6年 高橋 恵梨香

ぼくは今日のはじめての青森だったけど楽しかったです。外はあつかつたし、おみやげもかえたいいろいろな所に行きました。はじめてのしらない人とのりようでした。ありがとうございました。



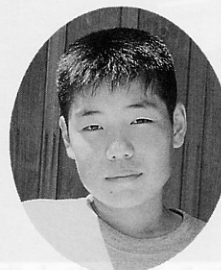
船津小4年 大塩 智広

やっぱりあつかつたりして「なんでこんなに歩かなきゃいけないの!」とか思っって早く帰りたいなあとか思っっちゃったりしたけど、でもやっぱり、おみやげとか見てたりホテルとか行ったらつかれがきえてすごく楽しい気分になれてよかつた。やっぱりもう少しいたいなあとという気分になれたから青森もけっこういいところだなあと思った。にもつは重かつたりしたけど、ほんとにもう少しゆっくりして

今回太宰のふる里の金木町に行ってみて最初に思ったことは、北国だからすずしいと思っっていたけど、すごくあつくてびっくりました。太宰のことを知らなかつたぼくですけど、この二日間ですんでいたのかとどんなな作品があつたのかなどがわかりました。この二日間は、いろいろな所を見せていただいたりありがとうございました。



小立小6年 渡辺 めぐみ



船津小6年 梶原 直也

いきたかつたです。(うめじユースもおもしろかった!)

# 太宰のふるさと友好都市

## 第2回文化



▶太宰の成績表を見て  
「頭がイイ！」と感心



▶斜陽館前で  
全員集合してパチリ

ゆかりの地」散策となりました。始めに、太宰文学碑のある芦野公園内を散策した後、太宰作品のタイトルが刻まれている思い出広場へ。子供たちは、百八十七もある数の多さにビックリし、知っている作品を探すのにも一苦労していました。雲祥寺では、地獄絵図を見たり、自分の将来を占うといわれる後生車を回すなど太宰の幼いころと同じような体験をしました。最後は太宰の生家太宰治記念館「斜陽館」を見学。座敷に座り、成田教育長から説明を受けた

後、館内を丁寧案内された一行は、太宰を肌で感じました。

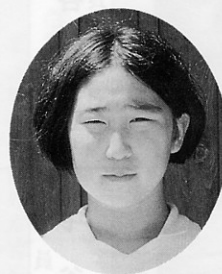
オーブンしたばかりの物産館で、昼食。最後のあいさつとして、団長の山本河口湖町収入役が「太宰が結びつけてくれた金木町と河口湖町との縁を大切にし、これからも交流を深めていきましょう」と述べ、今後の交流を誓い合いました。

青森県金木町と山梨県河口湖町。太宰が取り持つ友好のきずなは、距離を超え、世代を超えてこれからも一層広がっていくことでしょう。



▶たくさんの思い出を胸に

などがたくさんありました。また、きかいがあつたらこんどはかぞくと行きたいです。



大石小6年 貴谷 幸歩

わたしのさいしよの印象はとってもさむいと思っていました。でも行ってみたらとてもあつたのでどこもいっしょなんだなと思いました。太宰治もそう思ったのかな？ここはとてもいい所！といえます。そんな所です。



河口湖南中2年 勝保 玲美

とてもきれいな所でした。緑がたくさんあって、目の疲れもとれました。思ったよりも暑くて、汗をたくさんかきました。しゃよう館では、太宰の思い出などがたくさんつまっているのがよく分かり、身近に感じられました。又、三日に飲んだ「うめロマン」は、とてもおいしかったです。

私は、うめが苦手なのですが、すっかりして飲んでやすかったなあと思いました。今回、金木町に訪れることができて、本当によかったなあと思っています。又、機会があつたら訪れてみようと思います。

ありがとうございました。



河口湖北中3年 天野 裕美

とても環境のいい場所でおどろきました。河口湖町は観光地なので色々な景色がとれていて、きれいな景色がとってもつたいないです。けれどその「汚」は観光客だけなのでしょうか。私は住んでいる住民にも責任があると思えました。そう、つまり住民も投げすてをしているのです。住民がやめないかぎり観光客はゴミをすてるのをやめないでしょう。青森がきれいだったという事は、住んでいるみなさんの心がけがいいという事がわかりました。治さんのこともよくわかりました。親切にしてくださいありがとうございます。

# 新農業委員 決まる

任期満了に伴う金木町農業委員の選挙は、七月六日告示され、定数十名（第一選挙区・金木地区五名、第二選挙区・嘉瀬地区三名、第三選挙区・喜良市地区二名）に対して定数内の十名の立候補者があり、無投票で十名の委員が農家の信任を得ました。

また、同月二十六日に開かれた組織会には、農協などから推薦された七名を含めた十



◇会長  
古川 幸治  
喜良市（選挙）

七名が出席し会長に古川幸治氏、第一会長職務代理者に三瀨成太郎氏、第二会長職務代理者に小山内高志氏を選出。

【農業委員会】

農業委員会は、農業委員会に関する法律に基づいて設けられ、農業委員によって組織される町の行政委員会であると同時に、農業、農業者の公的に認められた代表機関で、選挙により選出される委員（十名）と町長が農協、農業共済組合、学識経験者から選任する委員（七名）で構成されます。

◇主要業務として

◇農地関係

農地等の売買・賃貸借権等の設定、あつせん等

◇農政関係

農業振興、制度資金、農家台帳の整備・保管、農業者年金等

 <p>◇委員 沢田 茂 嘉瀬（学識経験）</p>	 <p>◇委員 鳴海 彦一 嘉瀬（選挙）</p>	 <p>◇会長職務代理者 小山内 高志 嘉瀬（選挙）</p>	 <p>◇会長職務代理者 三瀨 成太郎 川倉（選挙）</p>
 <p>◇委員 加賀谷 勝雄 喜良市（共済組合）</p>	 <p>◇委員 沢田 文則 嘉瀬（選挙）</p>	 <p>◇委員 対馬 兼正 金木（学識経験）</p>	 <p>◇委員 田中 良治 金木（選挙）</p>
 <p>◇委員 中谷 肇 川倉（選挙）</p>	 <p>◇委員 泉谷 信治 喜良市（選挙）</p>	 <p>◇委員 中村 健男 金木（学識経験）</p>	 <p>◇委員 伊藤 清慈 嘉瀬（学識経験）</p>
 <p>◇委員 佐野 一 蒔田（選挙）</p>	 <p>◇委員 原田 繁福 藤枝（学識経験）</p>	 <p>◇委員 工藤 栄一 藤枝（農協）</p>	 <p>◇委員 徳田 長弘 金木（選挙）</p>